



2010年2月22日

第13回環境コミュニケーション大賞 環境報告書部門「環境報告優秀賞」を受賞

株式会社損害保険ジャパン（以下「損保ジャパン」、社長：佐藤正敏）が2009年7月に発行した『損保ジャパングループ CSRコミュニケーションレポート2009』が、環境省と財団法人地球・人間環境フォーラム（理事長：炭谷茂）が優れた環境コミュニケーションを表彰する「第13回環境コミュニケーション大賞」において、環境報告書部門「環境報告優秀賞」を受賞しました。

1. 環境コミュニケーション大賞の概要

環境コミュニケーション大賞とは、表彰を通じて事業者等の環境コミュニケーションへの取り組みを促進するとともに、その質の向上を図ることを目的に毎年実施されているものです。

審査結果等の詳細は、同制度のホームページをご確認ください。

<http://www.gef.or.jp/eco-com/>

2. 『損保ジャパングループ CSRコミュニケーションレポート2009』について

今回受賞した『損保ジャパングループ CSRコミュニケーションレポート2009』は、損保ジャパングループの社会的責任に関する取り組みを報告する年次報告書で、1998年に国内金融機関として初めて「環境レポート」（本レポートの前身）を発行して以来、12冊目となります。

受賞理由としては、「金融業界のなかで長期的視点に立った経営戦略とその報告内容」、「自社業務における2020年と2050年のCO2排出量削減の明確な数値目標（総量）を公表していること（トップコミットメントにて明言）」、「国際的なエンゲージメントも踏まえたサステナビリティに対するコミットメント」などが高く評価されたものです。

本レポートやCSRの取り組みについては、損保ジャパンのホームページでご確認いただけます。

<http://www.sompo-japan.co.jp/about/csr/>

以上